



# 地域子育てネットワークだより

令和2年10月号

発行／兵庫県子育て応援ネット推進協議会事務局

650-8567 神戸市中央区下山手通 5-10-1 兵庫県企画県民部女性青少年局男女家庭課

E-MAIL: danjokatei@pref.hyogo.lg.jp 電話: (780)341-7711(内線 2798)



## 誰もが安心して子育てできる社会へ

子どもを取り巻く環境への不安が増大している今日、より一層の**子どもの安全確保**のためには、**家庭・学校での安全対策**はもとより、それらを取り巻く**地域が一体となって子どもを見守って**いかなければなりません。

県では**子育て応援ネット事業**として、17の兵庫県地域女性団体ネットワーク会議構成団体や、自治会、青少年関係団体、子ども会、PTA等の**地域団体がネットワークを組み**、子育て家庭への見守り、声かけ、子育て相談、イベント、登下校時のパトロールなどを行う**子育て家庭応援運動**を展開しています。

また、子育て家庭応援推進員や活動に賛同するメンバーは、子育て家庭のSOSをキャッチし、市町やこども家庭センター、民生・児童委員、警察署等の関係機関へ連絡する取り組みを行っています。

こども家庭センター（児童相談所）	電話番号
中央こども家庭センター	078-921-9119
西宮こども家庭センター	0798-74-9119
川西こども家庭センター	072-759-7799
姫路こども家庭センター	079-294-9119
豊岡こども家庭センター	0796-22-9119
神戸市こども家庭センター【8:45~17:30】	078-382-2525
神戸市こども家庭センター【夜間休日相談】	078-382-1900
明石こどもセンター	078-918-5726



【問い合わせ先】兵庫県男女家庭課 TEL: 078-362-4185

### 兵庫県が

## "スマホ婚活" はじめました!

7月からスタート!

スマートフォンから24時間いつでもお見合い相手の検索、プロフィール閲覧、お見合い申し込みが可能になりました! まずは会員登録から!

【対象】20歳以上の独身でスマートフォンをお持ちの方

【料金】年5,000円(20代は3,000円)



☆詳細は「ひょうご 出会い」 <https://www.msc-hyogo.jp>

兵庫県では、少子化対策の一環として、「ひょうご出会い支援事業」に取り組み、現在では**県内10カ所**と東京の「**出会いサポートセンター**」において、結婚を希望する20歳以上の独身男女を対象に、**出会いの場づくりのお手伝い**をしています。会員登録をお待ちしています。



(問合わせ先)

ひょうご出会いサポートセンター

TEL: 078-891-7415 FAX: 078-381-6829



## 応援ネットの 活動紹介



声かけ・見守り活動などで子育て家庭を応援する「子育て応援ネット」の各地の取り組みを紹介します。

赤穂市子育て応援ネットワーク代表 山田 和子

赤穂市子育て応援ネットワークでは、地域の関係団体と連携し、**見守り、声掛け等、子育て応援活動**を行っています。

「夏休み工作教室」を今年度は**市内7か所の放課後児童クラブ**において開催し、地域の高齢者の方々のご協力を得て、**ゴム鉄砲・ロケット・デンデン虫・万華鏡等**を制作したり、昨年度は「**折り紙教室**」を行ったりしました。

また、子育て学習センターと連携し、子育て中の若いお母さん、また子育て家庭応援ボランティア等を対象に**子育てサポート講座**を開催しました。

新型コロナウイルス感染予防に配慮しながらの活動ではありますが、地域全体で**子どもたちの健やかな成長を願い**支援を行っています。

## まちの子育てひろばの活動紹介



三木南交流センター

「にこにこクラブ」



「にこにこクラブ」は、三木市立三木南交流センターが生涯学習講座の一つとして開講している乳幼児セミナーの愛称です。**定期開催日は毎月第3木曜の午前中**で、セミナー生として登録した親子が参加しています。

**三木南地区**は三木市内でも若い世代が多く、そのため**子どもの多い地域**です。三木南交流センターの取組に、子育て支援や子育てグループの育成があり、**地域ぐるみで子育てを応援**しています。

「にこにこクラブ」のメニューは、リトミック、セタかざり、縁日あそび、キッズアート、運動会、クリスマス音楽会などのほか、年に1～2回は遠足に出かけます。

セタかざりと縁日あそびは**地域の小学生やお年寄り**も加わり、とてもにぎやかです。

その他、小さなお子さんを持つお母さんたちの自主的な集まりの「おしゃべりサロン」も**毎月1回**行われており、**子どもの話題や子育ての悩み**についてのおしゃべりが始まります。

「にこにこクラブ」の輪がもっとももっと大きくなりますように！



連載  
第148回

## テレワークで子育てが変わる



県立こども病院名誉院長

中村 肇

新型コロナ流行をきっかけに、テレワーク（在宅勤務）で親が家庭にいる時間が長くなり、また「**中央から地方へ**」という**新しい生活スタイル**が始まりました。

親が家にいると、子どもはいっしょに遊びたがり、テレワークの邪魔になることもあります。これで**児童虐待**が増えてはなりません。地域での子育て家庭への**新しいかたちの支援・見守り**が求められます。

これまで地域との関わりの少なかった働くお母さん・お父さんが、地域社会の一員として、**地域活動にうまく入り込めるきっかけづくり**が必要です。

地域での「子育て応援ネット」のもつノウハウが、**新しい時代の住みよい町づくり**に、役立つにちがいありません。テレワークを、公園から子どもたちの大きな遊び声が響きわたる、**活気ある町づくりのきっかけ**にしたいものです。

